

病害虫発生予察注意報第1号

佐賀県

作物名：早植え水稻及び普通期水稻

病害虫名：斑点米カメムシ類



ホソハリカメムシ成虫

1. 注意報の内容

発生地域：早植え水稻及び普通期水稻栽培地域

発生量：平年より多い

2. 注意報発令の根拠

1) イネ科雑草地での発生状況

7月17日～24日に行ったイネ科雑草におけるすくい取り調査(18地点)では、ホソハリカメムシの発生が4.1頭(平年2.1頭)と平年より多い(表1)。発生種は、斑点米産出能力の高い大型カメムシであるホソハリカメムシ、クモヘリカメムシのほか、アカスジカスミカメが主体である。

2) これまでの気象

本年の九州北部地方の梅雨明けは6月27日と平年(7月19日頃)より22日早く、また佐賀市の7月の平均気温は30.1℃と平年(27.2℃)より高く、降水量は43.0mmと平年(366.8mm)より少なかったことから、本虫の発生に好適な条件であった。

3) 今後の気象

九州北部地方の1か月予報(福岡管区气象台7月31日発表)では、向こう1か月の気温は平年より高いと予想されており、本虫の発生・加害に好適な条件が続く見込みである。

3. 防除上注意すべき事項

- 1) 圃場周辺の畦畔、休耕田、空き地等の雑草は斑点米カメムシ類の増殖・飛来源であり、出穂直前以降の除草による水田内への誘い込みに伴う被害を防ぐために、除草作業は出穂10日前までに行う。
- 2) 薬剤防除は乳熟期(穂揃い期の約10日後)を中心に行うが、発生が多い圃場では穂揃い期と乳熟期(穂揃い期の7～10日後)の2回薬剤防除を行う(図1)。
- 3) イネカメムシは、他の斑点米カメムシ類と異なり、水稻の出穂始めから籾を吸汁して不稔及び基部斑点米を生じさせる。そのため、出穂前にイネカメムシの発生を認めた圃場では、通常の斑点米カメムシ類の防除適期である穂揃い期～乳熟期の防除だけでなく、発生状況に応じて出穂期の防除を行う。
- 4) 防除対策の詳細は「佐賀県総合防除計画(佐賀県病害虫防除のてびき)」を参照する。

表1 斑点米カメムシ類のイネ科雑草地すくい取り調査における発生状況（7月中下旬定期調査）

種類別	20回すくい取り虫数（頭）							平年	R7	平年比
	R1	R2	R3	R4	R5	R6				
ホリカメムシ	0.8	3.0	2.3	1.8	1.4	4.6	2.1	4.1	多	
クモカメムシ	4.5	10.2	2.7	2.4	4.5	12.7	6.0	2.3	やや少	
アカシカメムシ	3.4	34.1	46.4	15.5	20.3	19.1	21.8	22.8	並	
シラホカメムシ	0.7	0.1	0.0	1.5	0.1	0.5	0.8	0.6	並	
ミナアカメムシ	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	多	
計	9.4	47.5	51.4	21.2	26.2	36.8	30.7	30.0	並	

注）平年は過去10年間（H27～R6）の平均値を示す。

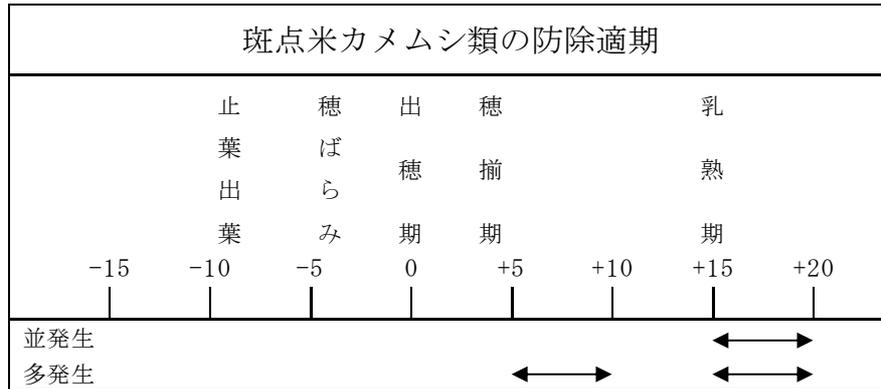


図1 斑点米カメムシ類の防除適期

○佐賀県総合防除計画（病害虫防除のてびき）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321928/index.html>



連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部 〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088 TEL (0952) 45 - 8153 FAX (0952) 45 - 5085 Mail nouyougijutsu@pref.saga.lg.jp ホームページアドレス https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html	
---	--